

令和5年度 経過報告

第42回定期総会を昨年7月に開催してから1年が経過し、本日ここに第43回定期総会を迎えることになりました。本総会は、これからの1年間の運動方針を討議・決定し目的達成に向かって全組合員が団結し、行動するための意志統一をするため開催するものであります。

この1年を振り返りますと、昨年10月にはインボイス制度の導入、今年4月からは建設業にも働き方改革関連法が全面適用され、一人親方、小・零細事業所にとってさらに厳しさが増しています。

また、公共工事設計労務単価が12年連続で引き上げられ、全職種の平均金額（加重平均値）が過去最高の26,000円となりましたが、実際の賃金との差はさらに乖離したというのが現状です。

令和5年度はコロナ禍で自粛していた組合員宅戸別訪問、保険証交換学習会も再開され、対面での活動の大切さを改めて実感しました。その中で宣伝カー、ホームセンターでの拡大宣伝物配布行動、事業所訪問など、組合員・ご家族の皆様、役員、職員が一丸となって、奮闘し、春の拡大月間中は本部割当36名に対して、28名の加入者がありました。しかし、1年を通して脱退者、除籍者が141名と加入者の78名を上回り、昨年5月末の組織数を63名下回る1,456名で5年度を終えました。

地元国会議員に対し、建設国保の予算

確保と育成強化を求める要請行動をしました。

また、持続可能な建設業の実現に向けた100万人国会請願署名や、建設国保の予算要求ハガキ運動、「国保組合の育成・強化、保険証交付の存続を求める要請署名行動」にも取り組んできました。また、全建総連のアンケート等にも協力してきました。

アスベスト問題については、組合員本人及び家族の立場にたって本部とともに取り組んできました。

この1年間の運動、行動を支えていただいた組合員、ご家族の皆さん、そして先頭にたってご奮闘された役員の方々に心から敬意を表し運動の経過と総括を報告いたします。

組 織 部

1. 部会を5回開催し、組織拡大に取り組みました。
1. 支部・分会組織活動者会議を3月31日に開催し、分会組織の充実、強化に向けた取り組みをしました。
1. 拡大推進委員会を10月7日と3月18日の年2回開催し、拡大運動に向けた行動を具体的に討議しました。
1. 本年も組織の拡大に向けて、現場訪問やホームセンター4店舗を交互に宣伝物の配布を毎月行いました。

1. 4月29日に西宮方面においてポスティング配布を行い、2000部を配布しました。

1. 春の拡大月間において、事業所訪問と組合員宅戸別訪問を支部役員と分会役員で実施しました。

今年度、3名以上拡大し組織拡大に貢献された方々は次の5名です。
又、支部及び分会役員として長年その責務につとめ支部発展のためにご尽力いただいた方に感謝状を贈呈して感謝の意を表しておりますが、今年度該当者はありませんでした。

令和5年度拡大功労者

(R5.6～R6.5加入分)

氏 名	分 会
川 本 秀 昭	立花北
石 本 究	園田西
柳 川 伸 也	伊丹南
杉 谷 忠 一	小 田
柳 川 旭	大 庄

(敬称略)

役員表彰者

氏 名	分 会
該当者なし	

教 宣 部

1. 部会を年1回開催しました。
1. 支部機関紙は新年号・健診号外を含めて年8回発行しました。
1. 機関紙には組合員・ご家族の登場・

原稿を掲載し親しみの湧く機関紙づくりに努めました。

1. 拡大月間には拡大行動の写真を中心に紙面を構成し、組合員さんに拡大行動の協力を依頼しました。

1. 本部主催の教宣実務学習会はありませんでした。

1. 支部教宣実務学習会を12月3日に開催し、10名の参加がありました。

1. ホームページの更新を毎月行いました。

1. 一般組合員及び御家族の寄稿には、謝礼をしました。

税 対 部

1. 1月25日、税金決算記帳講習会を開催し、15名の出席がありました。

1. 2月16日女性センタートレピエ、2月19日尼崎市中小企業センター、3月9日伊丹ホールにおいて税金申告相談を3回行い、合わせて79名の参加がありました。

1. 部会を1回開催しました。

賃 対 部

1. 賃対部会を4回開催しました。

1. 1月19日に行われた支部本部合同賃対部会に支部より1名参加しました。

1. 2月1日の県連賃金討論集会に支部より1名が参加しました。

1. 3・25統一行動は12名参加して中央

地区を中心に4月7日ポケットティッシュ及び拡大宣伝物(2400部)の配布活動を実施し、組織拡大に協力しました。

1. 家計簿調査と賃金アンケートを本部の要請で実施し、賃金実態を把握し、生活の向上に努めました。

住技対部

1. 部会を1回開催しました。
1. 3月の支部本部合同住技部会に参加しました。
1. 技能講習会の参加者はありませんでした。

社保対部

1. 建設国保の保険料が少しでも負担が少なくなるように組合でも全建総連中央決起大会参加及び請願書・ハガキ要請行動などを通じて努力してきました。
1. 新加入者集会を原則毎月2日に実施し、組合活動や建設国保に対する認識及び、保険料等の納付についての説明を行い滞納のないように努めました。又未加入者の紹介のよびかけもあわせて、新加入者アンケートに協力していただきました。
1. 保険証の有効期限が11月30日までのため、11月度に10会場で、分会役員が主体となり保険証交換学習会を実施しました。その中でも補助金満額

獲得のための財務省・厚生労働省に向けての要請ハガキ行動にも取り組みました。

1. 3月に行う健康教室は中止になりました。
1. 建設業退職金共済制度加入者数は、令和6年5月現在で231件です。新加入者集会にて、加入をすすめてきました。建退共の掛金は令和3年10月より1日320円となり、一人親方は1ヶ月23日、事業所は25日として統一しています。事務費として1ヶ月30円を徴収しています。

青 対 部

1. 青年部の活動を支援するため、毎月開催される青年部幹事会に出席し指導してきました。
1. 青年部の機関紙の作成に協力してきました。
1. 青対部会を1回開催しました。

財政について

1. 令和5年度収支決算書(別紙の通り)
1. 令和5年度決算において、剰余金が出たので別紙のとおり処分します。